

繊維ロープ用語

Glossary of Terms Used in Ropes

1. **適用範囲** この規格は、繊維製のロープに関する用語について規定する。
対応国際規格及び関連規格：6 ページに示す。

2. **分類** 用語は、次の4分類とする。

- (1) 構造に関する用語
(2) 製品に関する用語
(3) 試験に関する用語
(4) 接続加工及びその他に関する用語

3. **番号、用語、読み方及び意味** 番号、用語、読み方及び意味は、次のとおりとする。
なお、参考のため対応英語を示す。

(1) 構造に関する用語

番号	用語	読み方	意味	対応英語（参考）
101	ヤーン		繊維をより合わせたもので、ストランドを構成するもの（付図1参照）。	yarn
102	ストランド		ヤーンを2本以上より合わせたもので、ロープを作る中間体（付図1参照）。子縄ともいう。	strand
103	ロープ		ストランドを2本以上より合わせたもの又は4本以上を組んだもの（付図1参照）。	rope, cordage
104	三つ打ちロープ	みつうちろーぷ	3本のストランドをより合わせたロープ（付図2参照）。	three strand rope
105	四つ打ちロープ	よつうちろーぷ	4本のストランドをより合わせたロープ（付図3参照）。	four strand rope
106	六つ打ちロープ	むつうちろーぷ	6本のストランドをより合わせたロープ（付図4参照）。	six strand rope
107	八つ打ちロープ	やつうちろーぷ	Zよりストランド4本及びSよりストランド4本をそれぞれ2本ずつ引きそろえ、交互に組み合わせたロープ（付図5参照）。	eight strand plaited rope
108	二重組打ちロープ	にじゅうくみうちろーぷ	外層と内層で構成されており、それぞれ組構造でできているロープ（付図6参照）。	double braid rope
109	Zより	ぜつとより	ロープのより方向がZ字形に一致するより方（付図7参照）。左よりともいう。	right hand lay, Z twist

番号	用語	読み方	意味	対応英語 (参考)
110	S より	えすより	ロープのより方向が S 字形に一致するより方 (付図 7 参照)。右よりともいう。	left hand lay, S twist
111	ロープの山	ろーぷのやま	ロープの外接円と接する部分(付図 8 参照)。	crown

(2) 製品に関する用語

番号	用語	読み方	意味	対応英語 (参考)
201	ホーサ		主として係船用に使用する径の太いロープ。	hawser, mooring line
202	ひき (曳) 綱	ひきづな	船舶又は海洋構造物などをえい航するときに使用するロープ。	tug rope
203	標識ロープ	ひょうしきろーぷ	工事現場など特定の区域を識別するために使用する, 黒色のストランドと黄色のストランドをより合わせたロープ。	sign rope
204	登山用ロープ	とざんようろーぷ	登山, 岩登りなどで使用する身体確保用のロープ。	climbing rope, mountaineering rope
205	命綱	いのちづな	高所などで危険な作業をするときに使用する身体確保用のロープ。	safety-rope, life line
206	スリングロープ		荷役に使用するつり上げ用のロープ。	rope sling
207	コンパウンドロープ		ストランドの中心にワイヤストランドをより込んだロープ。	compound rope
208	コンビネーションロープ		ロープの中心にワイヤロープをより込んだロープ。	combination rope
209	はえ (延) 縄	はえなわ	釣り漁法の一つであるはえ縄漁に使用するロープで, 三つ打ちロープをストランドとし, これを 3 本より合わせ又は二つ打ちロープをストランドとし, これを 2 本より合わせたロープ。 構成には 3×3 子, 2×2 子がある。	long line
210	岩糸	いわいと	網漁具を構成するロープで, 1 本から 4 本のヤーンをより合わせてストランドを作り, 更にこのストランドを 3 本又は 4 本より合わせたロープ。 構成には 1×4 子, 2×3 子, 3×3 子, 4×3 子などがある。	lead line, float line

(3) 試験に関する用語

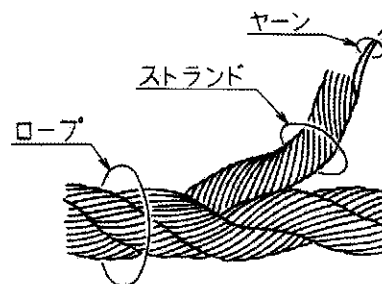
番号	用語	読み方	意味	対応英語 (参考)
301	線密度	せんみつど	単位長さ当たりの質量。一般的に 1m 当たりのグラム数 (g/m) 又は ktex で表す。 単位長さの測定は, 規定の初荷重を加えた状態で行う。	linear density
302	より数	よ리카ず	単位長さ当たりのより数。一般的に 1m 当たりのより数で表す。	count of twist
303	より角度	よ리카くど	ロープの軸方向に対するストランドの傾き角度で, その正接 (ロープの直径と π の積に対するリードの比) で表す (付図 9 参照)。	angle of lay
304	リード		より打ちロープの場合, ストランドの 1 回のより程。 組み打ちロープの場合, ストランドの 1 回の組み程 (付図 10 参照)。 測定は, 規定の初荷重を加えた状態で, ロ	length of lay, pitch

番号	用語	読み方	意味	対応英語（参考）
			ープの軸に平行して行い、ミリメートルで表す。	
305	呼称太さ	こしょうふとさ	線密度を基準として決定した直径で、ロープの表示に用いる絶対値。標準径ともいう。	nominal diameter, reference number
306	初荷重	しょかじゅう	ロープが伸張せずにまっすぐに張る程度の荷重。	tension for measurement, reference tension
307	引張強さ	ひっぱりつよさ	引張試験においてロープが維持できる最大の荷重。	breaking strength, breaking load
308	ロープの長さ	ろーぷのながさ	規定の初荷重を加えて測定した長さ。	length of rope
309	伸び率	のびりつ	引張試験で得るロープの伸長度。荷重が規定引張強さの 75%に達したときのロープの長さと初荷重時の長さとの差を初荷重時長さの百分率で表したもの。	elongation

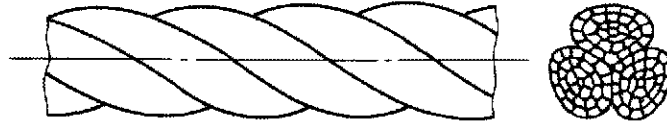
(4) 接続加工及びその他に関する用語

番号	用語	読み方	意味	対応英語（参考）
401	アイスプライス		ロープの端部を輪状にした後その先端部をほぐし、ストランドをロープの間に差し込む端末加工法又はこの加工法でできた端末（付図 11 参照）。	eye splice
402	ショートスプライス		2 本のロープを接続する方法で、それぞれのロープの端部をほぐし、互いにロープの間にストランドを差し込む加工法又はこの加工法でできた接続部分（付図 12 参照）。	short splice
403	ロングスプライス		2 本のロープを接続する方法で、片方のロープの端部のストランドをほぐした部分に他のロープのストランドをはめ込んで一対のストランドごとにつなぐ加工法又はこの加工法でできた接続部分（付図 13 参照）。	long splice
404	積巻き	せきまき	ロープの表面を細いロープで上巻きすること。	serving
405	キンク		ロープがねじれと緩みを同時に受け、これによって形崩れした状態。	kink

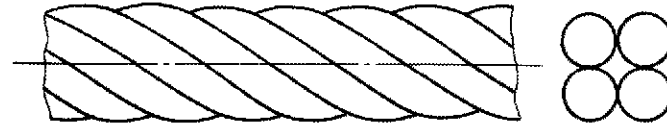
付図 1 ロープの構造



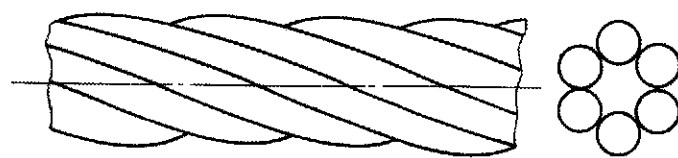
付図2 三つ打ちロープ



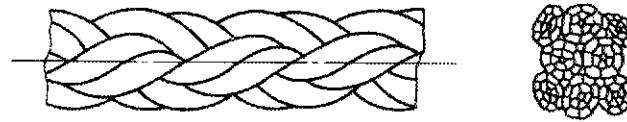
付図3 四つ打ちロープ



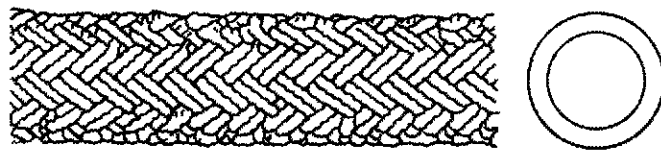
付図4 六つ打ちロープ



付図5 八つ打ちロープ



付図6 一重組打ちロープ



付図7 Zより及びSより

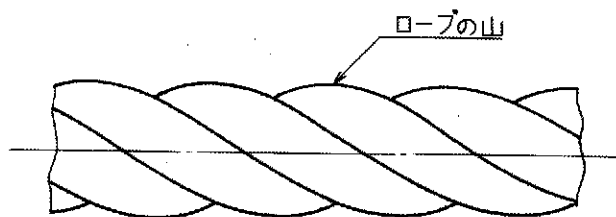
Zより



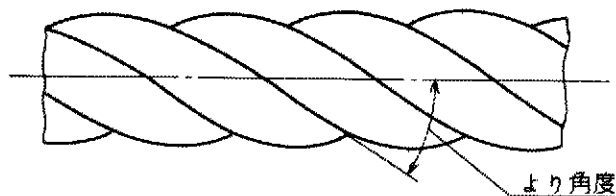
Sより



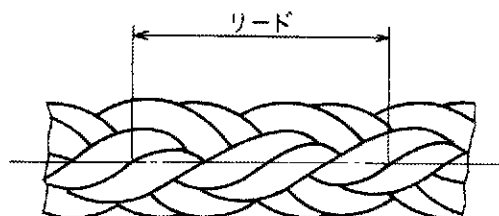
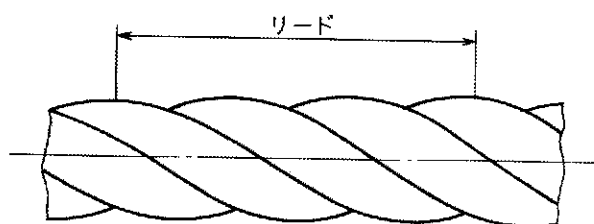
付図 8 ロープの山



付図 9 より角度



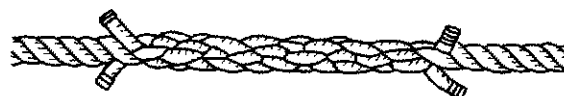
付図 10 リード



付図 11 アイスブライス



付図 12 ショートスブライス



付図 13 ロングスブライス



対応国際規格：

ISO 1968-1973 Ropes and cordage—Vocabulary

関連規格：JIS L 2701 麻ロープ

JIS L 2702 綿ロープ

JIS L 2703 ビニロンロープ

JIS L 2704 ナイロンロープ

JIS L 2705 ポリエチレンロープ

JIS L 2706 ポリプロピレンロープ

JIS L 2707 ポリエステルロープ

綱用語 JIS 原案作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 久 明	東京工業大学
(幹事)	◎ 竹 本 靖 雄	東京製綱繊維ロープ株式会社
	林 康 夫	通商産業省生活産業局
	増 田 優	通商産業省生活産業局
	斉 藤 章 一	水産庁漁政部
	佐々木 博 通	運輸省海上技術安全局
	○ 古 屋 匡 藏	工業技術院繊維高分子材料研究所
	○ 河 合 寛 郎	愛知県三河繊維技術センター
	○ 小 池 晴 巳	工業技術院標準部
	○ 平 林 秀 人	財団法人麻製品検査協会
	大八木 正 広	財団法人日本海事協会
	森 田 秀 雄	社団法人大日本水産会
	十 田 俊 一	全国漁業協同組合連合会
	網 本 汀 司	財団法人日本船舶標準協会
	土 屋 幸 彦	日本フレキシブルコンテナ工業会
	長 田 繁	ニチモウ株式会社
	鳥 居 壮	太陽工業株式会社
	難 波 基 光	株式会社日通総合研究所
	別 能 恒 夫	日本化学繊維協会
	◎ 岡 崎 収 輔	帝国産業株式会社
	◎ 竹 中 千 秋	泰東製鋼株式会社
	◎ 間 瀬 恭 平	株式会社丸出製鋼所
	◎ 今 井 輝 雄	芦森工業株式会社
	◎ 近 藤 富士男	近藤麻工業株式会社
	池 田 順 一	財団法人日本規格協会
(事務局)	◎ 山 本 繁 文	日本繊維ロープ工業組合
	水 嶋 信 子	日本繊維ロープ工業組合

○印は分科会委員を兼任，◎印は分科会及び小分科会委員を兼任